

## 2019 年度 第 33 回卒業式 学校長式辞

長かった冬が終わり、温かい日差しが心地よく感じられる今日この日に、卒業証書を授与される国際ビジネス科の 154 名、日本語科の 72 名のみなさん、卒業おめでとうございます。また、国際ビジネス科のみなさんは同時に、専門士の称号も授与されます。

教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。

今年度は、今世界中を騒がせている新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業式典を行うことができなくて、みなさんにとって残念な年になってしまいました。私たち教職員も残念に思っています。しかし、今日が、皆さんが新しい世界へと飛び立つ、おめでたい日であることに変わりはありません。

さて、専門学校インターナショナル・スクール オブ ビジネスは 1986 年 4 月に、「豊かな知性と感性をはぐくみ、新しいコミュニケーションの技能を体得し、明日の文化を担い、実業の第一線で活躍する人材を育成することを目標に」開校されて以来、多くの卒業生を世に送り出してきました。卒業生の国籍も日本を含め 10 数か国に渡り、現在も世界中で活躍されています。

2 年前に、日本語科の 10 月生の皆さんは 1 年半まえに、ISB に入学した時の、気持ちや考えていたことを覚えていますか。きっとみなさんは希望にあふれて入学したと思います。それは実現できたでしょうか。

学生生活はとても貴重なものです。今はまだそのことが分からないかもしれない。でもきっとそれは後になって分かります。

これから皆さんは、就職したり、進学したり、ISB から離れて、それぞれ自分の人生を歩んでいきます。

その中では、いろいろなことがあるでしょう。

ある時は、良いことが続いて起こり、気持ちが前を向いて、元気にあふれている時もあるだろうし、それとは逆の気持になることもあるでしょう。

そのような時は、ISB で過ごした時間を思い出してください。

懸命に勉強したこと、先生に怒られたこと、友達と過ごした楽しい時間、力になってくれた周りの人達の言葉。ここにいた何年かの間の充実した時間を思い出して、みなさんは決して一人じゃないんだということを、思ってください。

皆さんの人生は他の誰かとつながって意義のあるものになります。

人間は一人では生きていけない、当たり前です。でもこの当たり前のことの本当の意味を理解するのはとても難しいものです。

この学校で作った友達とのつながりを大切にして、その人達とのつながりを原動力にして、前に進みましょう。

そして、

親を大切にしてください、子供ができた人は大事に育ててください、友達と仲良くしてください。

全部当たり前だけど、みんなの人生の先輩である私が、大切な ISB の卒業生である皆さんに一番言いたいことは、そのことです。

皆さんが自分にとって大切なものはなにかをきちんと理解して、それを大事にしていたら、必ずこれからの人生は素晴らしいものになります。いい人生を送ってください。

頑張ってください。私達 ISB の先生達は、みんなをいつも応援しています。

以上、卒業生の皆さんの健康を祈るとともに、これからの活躍を期待して、式辞と致します。

学校法人東京ドリーム学園  
専門学校インターナショナル・スクール オブ ビジネス  
学校長 遠山 賢一